

自動運転AIチャレンジ2025 スポンサーのご案内

2025年3月

公益社団法人 自動車技術会



自動運転AIチャレンジ2025 開催概要

1. 大会名称	自動運転AIチャレンジ2025
2. 主催・後援	主催：公益社団法人自動車技術会 後援(予定)：日本自動車工業会、東京大学生産技術研究所、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構、 日本自動車部品工業会、日本ディープリング協会、ITS Japan
3. 開催日程	次ページ参照
4. 開催地	予選：オンライン 決勝：シティサーキット東京ベイ（お台場）
5. 競技	シティサーキット東京ベイのコース（予選はデジタルツインに再現した同コース）を自動運転カートで周回する
6. 参加コース	学生コースと一般コースを設定予定
7.表彰	(各コース)競技順位賞(最優秀賞、優秀賞、3位入賞)のほか コミュニティ貢献賞・広報賞とプレゼンテーション賞を設置
8.その他	予選・決勝の各表彰式にてプレゼンテーション企画を実施予定

自動運転AIチャレンジ2025 スケジュール

時期	項目	詳細
5月19日-7月1日	参加登録期間（予定）	
7月1日～9月1日	予選大会の開催	オンラインシミュレーションを用いた競技による審査
9月下旬	予選大会表彰式の開催	プレゼンテーション企画の実施
9月～10月	事前練習会の実施	決勝出場チームの実車両での練習会
10月25日-26日 予備日 10月27日	決勝大会の開催	自動運転レーシングカートによる競技
12月中旬	決勝大会表彰式	決勝大会の表彰式とプレゼンテーション・交流会

各イベントの開催日程やサービス詳細は変更となる可能性があります。最新情報はホームページをご覧ください

●スポンサー特典

大会スポンサーご支援金額（税別）

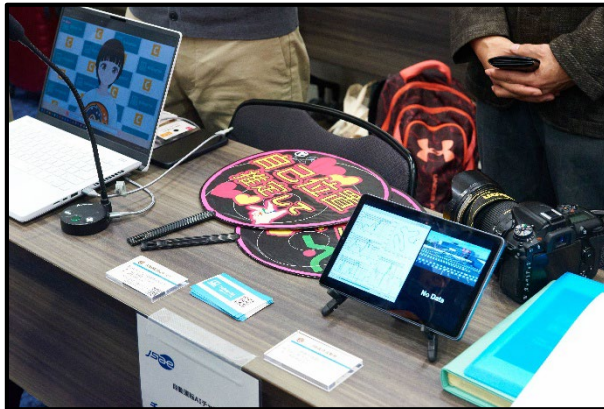
☆プラチナスポンサー 200万円 ☆ゴールドスポンサー 100万円 ☆シルバースポンサー 50万円 ☆ブロンズスポンサー 20万円

#	スポンサー特典項目	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
1	プレゼンテーション企画における企業ブースの設営	○	○	-	-
2	同意を得た競技参加者情報の提供	○	○	-	-
3	配信ページへの企業ロゴ掲載及びURLリンク掲載	○	○	○	-
4	予選競技採点ウェブサイト(一般公開)への企業ロゴ掲載及びURLリンク掲載	○	○	○	-
5	決勝競技会場に企業名看板設置	サイズ 大	サイズ 中	サイズ 小	-
6	大会専用SLACKに採用情報・インターン情報の掲載	○	○	○	-
7	大会公式webサイトに企業ロゴ及びURLリンク掲載	○	○	○	○
8	大会パンフレットへの企業ロゴ掲載	○	○	○	○
9	スポンサーボードへの企業ロゴ掲載	○	○	○	○
10	配信映像への企業ロゴ掲載	○	○	○	○
11	決勝・予選各表彰式への出席	○	○	○	○

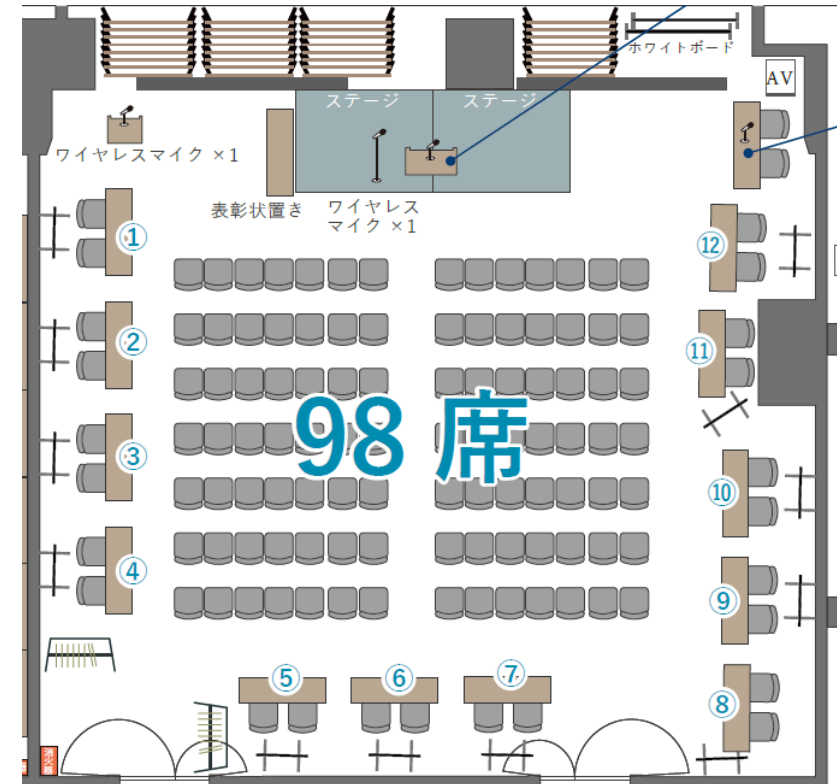
各イベントの開催日程やサービス詳細は変更となる可能性がございます。最新情報はホームページをご覧ください

スポンサー特典 #1 企業ブースの出展

プレゼンテーション企画におけるチームQ&Aブースの一面に企業PRブースをご用意いたします)



プレゼンテーション企画 会場イメージ
(①～⑫がチームQ&Aブース)



シルバースポンサー以上のロゴ掲載イメージ（#3～5）

配信ページへの企業名、ロゴ掲載(#3)

予選競技採点ウェブサイト(一般公開)へのロゴ掲載(#4)

決勝競技大会について About the final competition

プラチナクラス Platinum class

NISSAN
MOTOR CORPORATION

TOYOTA

HONDA

シルバークラス Silver class

mazda

Astemo



決勝競技会場に企業名看板などの設置(#5) プラチナ～シルバーまでサイズ大、中、小(画像は2019年大会今年度の使用は調整中)



スポンサー特典 #6 大会専用スラックに採用情報・インターン情報等の掲載

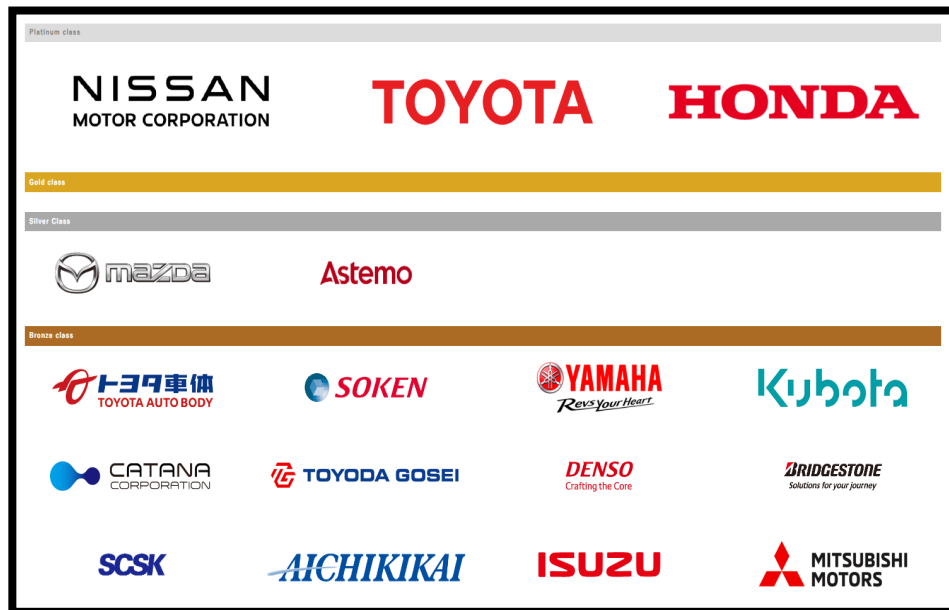
参加者が集まるSLACKにて指定された時期に採用情報等を掲載することが出来ます。



過去大会参加者を含めて、500名以上が参加しているチャンネルに採用情報等を掲載可能です。
SLACK内DM機能にて興味を持った参加者から個別に連絡をもらうこともでき、広報から関係づくりまでシームレスに行うことが出来ます。
時期：予選期間中（7月最終週を予定）
対象：シルバースポンサー以上
投稿回数：1回

ブロンズスポンサー以上のロゴ掲載イメージ（#7-10）

大会公式ウェブサイト及び会場内パンフレット 掲載例(#7,8)



配信映像への企業ロゴ掲載例(#10)



スポンサーボード ロゴ掲載例(#9)

2024年度はゴールドスポンサー対象企業が無かったが、プラチナとシルバーの間の大きさで掲載予定



自動運転AIチャレンジ 参考資料

2025年3月

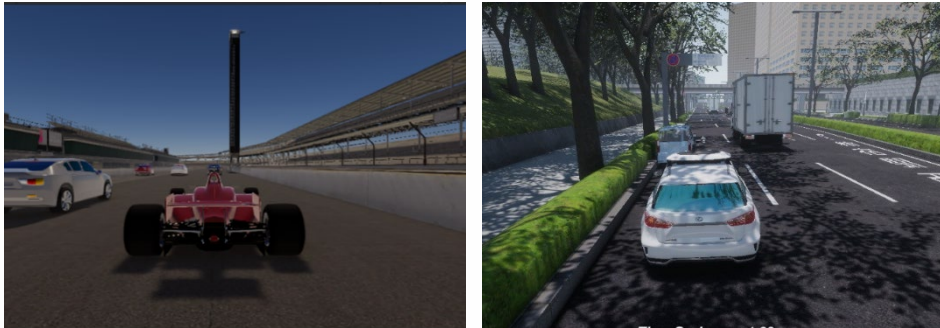
公益社団法人 自動車技術会



自動運転AIチャレンジについて

- 自動車技術会が主催する「自動運転AIチャレンジ」は、新技術領域の育成事業として2019年の初回開催以来発展を続け、2025年で7年目です。予選競技をオンラインのシミュレーターで、決勝競技を実車両走行で行う本大会は、ソフトウェア人材に対してモビリティを動かす楽しさを知ってもらう国内でも貴重な機会です。
- 2024年度からは大会の会場をシティサーキット東京ベイ(お台場)に移し、競技素材はEVカートを用いるなど大幅な変更しました。

シミュレーションを用いた過去大会の様子



モビリティを用いた過去大会の様子



大会の意義と貢献

- 2024年度大会ではこれからの自動車業界を牽引する技術者の発掘育成のため、以下の取組を実施しました。

(1)人材発掘

●会場・競技素材変更による訴求力の向上による参加者数増加、満足度向上

●自動車産業、ソフトウェア、各大学等からの参加が増え、裾野が拡大



(2)人材育成

●シミュレーター導入から、実車両走行まで、各段階におけるサポート体制

Autoware 入門講座

はじめに

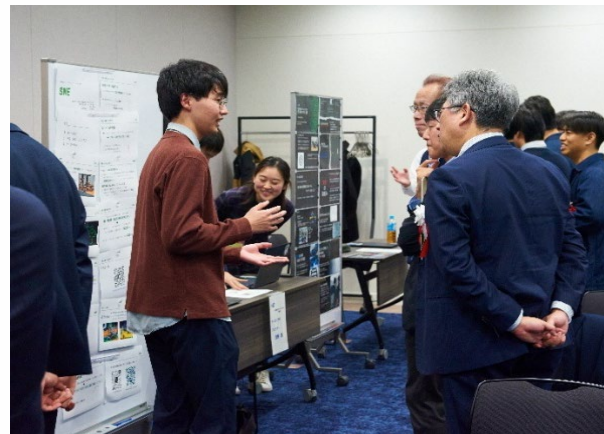
この講座では Autoware の基本的な開発方法について解説します。講座は演習用、課題を達成するためのコードをゼロから開発しながら Autoware の仕組みを学んでいます。各講座のページにはメニューから移動してください。



(3)人材交流

●交流会の充実による自動車産業との接点増加

●参加者間の情報交換・交流の促進



(1) 人材発掘

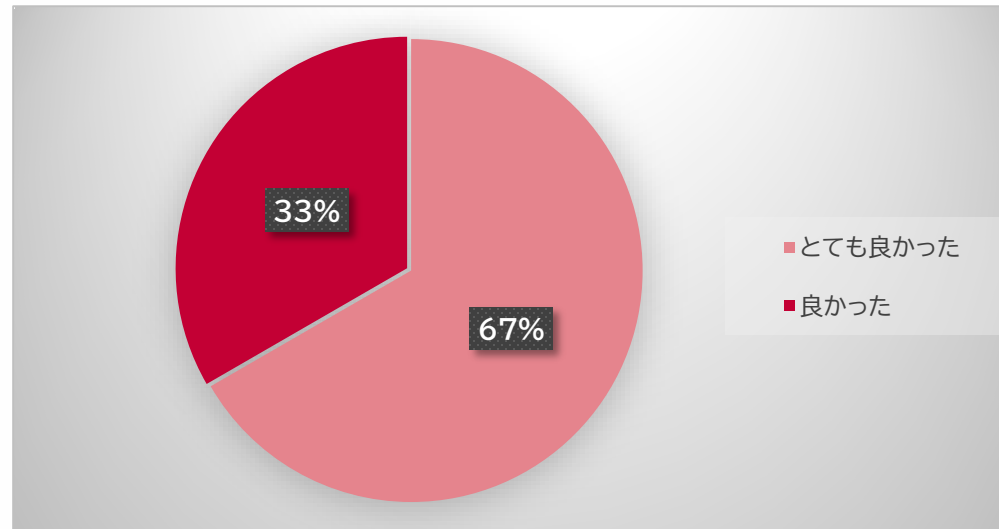
● 会場・競技素材変更による訴求力の向上による参加者数増加及び満足度向上

大会毎の参加者推移

年度	名称	社会人	学生	合計
2019年	第1回	3	8	11
2020年	第2回	53	17	70
2021年	第3回	177	56	233
2022年	インテグレーション	308	100	408
2022年	シミュレーション	205	86	291
2023年	インテグレーション	188	66	254
2023年	ForRookie	42	142	184
2023年	シミュレーション	114	57	171
2024年	2024	237	154	397

満足度調査(決勝大会参加者向け)

Q. 昨年度の自動運転AIチャレンジはゴルフカートを利用した競技を行い、今年度から初めてEVカートを利用した競技を実施しました。このような競技についてどのように感じましたか。
(「とても良かった」～「とても悪かった」5段階評価、総回答15件)



● 自動車産業、ソフトウェア、各大学等からの参加が増え、裾野が拡大

参加者所属大学(一部): 会津大学、大阪大学、岐阜大学、千葉工業大学、筑波大学、東京大学、同志社大学、東京理科大学、名古屋大学、明治大学、横浜市立大学、立命館大学、早稲田大学など

参加者所属会社(一部): NEC航空宇宙システム、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、dSPACE Japan、トヨタ自動車、SUBARU、日立産業制御ソリューションズ、MathWorks、Lineヤフー、その他フリーランス多数。

(2) 人材育成

- シミュレーター導入から、実車両走行まで、各段階における充実したサポート体制の提供
- 実車両テスト機会の提供
- 走行解析ツールの提供

自動運転開発の一連のプロセスを通じて、実践的な人材育成を図りました。

STEP 01

SW導入

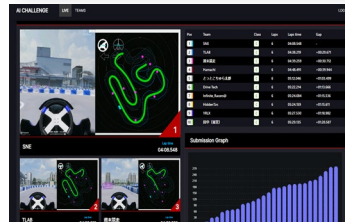
- ・ オンラインマニュアルの提供※1
- ・ SLACKチャンネルにおけるQ&A対応※2



STEP 02

シミュレーション

- ・ オンライン採点環境の提供
- ・ 有志による知識・経験の共有を顕彰 (=コミュニティ貢献賞)



STEP 03

走行テスト

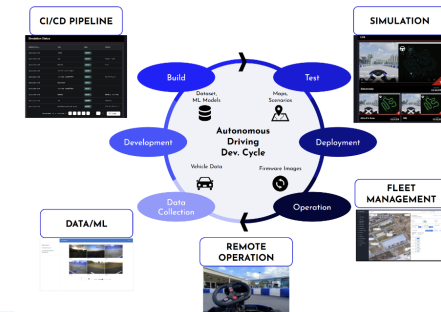
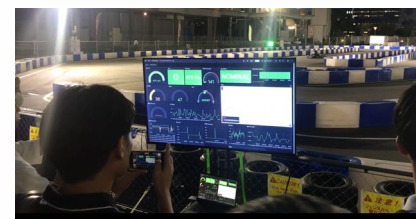
- ・ テスト走行の実施
- ・ テスト日にスタッフ常駐・サポート提供



STEP 04

ログ解析支援

- ・ 走行テストのログの可視化ディスプレイの提供
- ・ 参加者用のオンライン可視化ボード提供



※1<https://automotiveaichallenge.github.io/aichallenge-documentation-2024/course/index.html>

※2Q&A対応はその後の各フェーズでも常時実施している。

(3) 人材交流

● 交流会の充実による自動車産業との接点増加

表彰式でプレゼンテーションが行われ、チームが大会に臨んだ際の工夫点等を発表しました。その後、会場内の個別ブースにてスポンサー(自動車産業)からの質問を受け付けるQ&Aタイムを実施しました。また、式後に立食パーティーを開き、親睦を深めました。



● 参加者間の情報交換・交流の促進

コミュニティ貢献賞を設置し、参加者が自身の経験を他参加者に共有することを推奨し、「車輪の再開発」を避け、大会全体のレベル向上と参加者間の交流を同時に達成しております。



参加者作成の自動運転AIチャレンジ関連記事(一部)※1

※1 <https://qiita.com/advent-calendar/2023/jidouuntent-ai>

※2 <https://challenge-club.connpass.com/event/330226/>



有志によるオンラインミーティング※2